

学校教育目標

自ら考え 自らの力で 未来を切り拓く宮野浦の子ども ～自律・協働・創造～

本校ホームページ <http://www.sakata.ed.jp/miyanoura/>



宮小だより



令和7年2月20日号

発行:酒田市立宮野浦小学校

小中一貫教育がめざす姿

川南小中一貫教育を令和4年度より3カ年計画で進めてきました。本校でも、自律・協働・創造を学校教育目標に掲げ、取り組みを継続しています。令和7年度より更に前進していくために、自律・尊重・創造を目指す姿とします。

自律 … 自ら、考え、判断し、決定し、行動する

尊重 … 多様性を重視し、対話を通して対立・ジレンマを解決する

創造 … 問題を解決するために情報や技術等を活用し、新たな価値観を生み出す

尊重と協働は、対話を通して他者を理解することでこれまでと変わりはありません。次年度より本校も 自律・尊重・創造 とします。

1年前の2月号学校だよりを、『宿題とは 家庭学習とは』という内容で発行しました。自ら考えて学習に取り組む子どもが育つべく、教職員はもちろん保護者の皆様からも考えていただきながら進めてきました。1年生から6年生まで、子どもたちの様子や担任の考えを活かして、自学自習、マイプラン学習・フリースタイルプロジェクトにも取り組んでいます。「学びが楽しい」という答えが増えてきている一方で、「何をしたらよいか分からない」「勉強しなくなった」「もっと宿題を出して欲しい」という声があるのも事実です。酒田市全体でも『家で自分で計画を立てて勉強していますか』という学習習慣について、中学生で肯定的な回答が減少することが課題になっています。中学校でも以前のように強制的な学びではなく、学び方を自らつくっていく本校と同じスタンスで進めています。学習習慣を身につけていくには、目的意識が高められるかが重要です。学校では、「おもしろいと思う授業」「もっとやってみたい」「家でもやってみたい」という授業づくりを日々考えています。また、自分の生活時間の使い方を見通すことができるように、個人に応じて力をつけていく必要もあると考えます。

家庭での約16時間の生活時間をどう過ごしていくか（睡眠8時間・余暇8時間）を、お子さんと対話する機会を持って欲しいと思います。

子どもたちが目指す姿に向かって、歩みを進めているのは事実です。小中学校9年間でめざす姿にどれだけ近づくことができるか。私たち大人が見届け続けていくこと、自ら考える環境をつくっていくことと同時に、「任せる内容はどこまでなのか」など考え続けていくことを大切にしていきたいと思います。



校長

【藤川かん奈氏 キャリア講話】